

経営学 実践講座

バーガー楽しく売り込め!

高校生53人アイデア出し合おう



ファストフードを通じ、どんなサービスやメニューがあれは高校生を引きつけてもらう公開講座「第10回高校生のための経営学実践講座」が、(株)モスフードサービスの協力で8月2日、生田キャンパスで開かれた。将来お店を開きたい「うちが自営業なので経営に興味がある」「何か面白そう」と東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬の1都4県から応募した53人が参加した。宿題(よく行く外食店を2つ、利用する目的について友達にアンケートしてくる)の結果をもとに、「雑誌の読者モデルとコラボした限定ショップ」を提案したチームなどが選ばれた。モス社広報の浅羽康之氏は「十分検討に値する企画をいただいた」と高校生たちに



▲ハイタッチで笑顔に。高校生の緊張をほぐす原木さん(右)

論を深める技術、専門的な知識とそれらをまとめる総合力を磨いてください」とエールを送った。高校時代に参加し、指導役・原木さん(初対面の参加者をまとめ、プレゼンテーションまで導くのはチューター(指導役)の学生たちだ。今回チューターを務めた3・4年生20人の一人、原木ルウさん(3年生)は4年前の参加者の神奈川県港北高校2年の時の経験がきっかけで専大に進んだ。「いろいろな考えの人と話せて刺激になった。楽しくて一日があっという間で」と振り返る。何よりうれしかったのはチューターの心配り。緊張して話せない原木さんへの的確なタイミングで声をかけ、発言の機会を作ってくれた。大学や大学生を身近に感じ、経営学に興味を湧いたという。その時の印象が強く残り、専大へ。今は広告戦略がテーマの石崎徹ゼミで学ぶ。初挑戦したチューターは「こんなに難しいとは。個性の違う一人一人から意見を聞き出すことがどんなに大変か、わかりました」。

専大校友を訪ねて



福田 義彦さん (昭40経済)

専大時代は経済学部商学学科で学び、入るのに数倍の倍率で人気が高かった澤田武ゼミに入るとに憧れ、卒業後は熊平製作所に就職。後に父親の経営する会計事務所に入った。高校は普通科で商学系の科目は不得意だったため、1年次生から村田行政書士・福田義彦事務所長に行政書士を学ぶことになった。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

座右の銘は「粒粒辛苦」

行われたが、これに挑戦しなかった。「社員に私の会社は社員を大事にする会社だ、と感ぜてもらうことが成長につながる鍵」という。専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。



専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

専大時代の思い出を語り、今後の活動について話した。福田さんは、専大時代に学んだことが、今の仕事に生かされている。

健康フラッシュ

パソコン注意! VDT症候群

最近、「目は疲れる、肩も凝る、背中も痛い。なんとなく気分が晴れない」と感じたことはありませんか? 今やVDT(パソコン等の画面表示装置のあるコンピュータ機器)作業などは、勉強や仕事はできない時代になってしまっています。日常生活でもスマートフォン、携帯電話、ゲーム機など、いつでもどこでも目をついつい集中して目を使わなければならない状況が、VDT作業に伴って起こる不快な症状を総称して「VDT症候群」といいます。

目の疲れやドライアイ、肩凝り、頭痛、目眩、目の老化は意外に早く始まることも。長時間同じ姿勢をとることが多いため腰痛や首や肩凝りなどの症状が起きたり、さらにテクノスVDT作業は「集中」とリラックスのバランスをコントロールすることが重要です。目の疲れを感じたら、それは目を休めるための注意信号です。

・無理のない姿勢で作業
・こまめに休憩をとる
・作業の合間には簡単なストレッチ
・作業の合間には簡単なストレッチ